

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶるうみい		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富なセラピストが訪問しているため、あらゆるニーズに対応することが出来る。	ニーズの把握に努めている。 課題により道具など準備し、必要に応じ提供している。 ニーズに合わせ、理学療法士、または作業療法士が訪問している。	学校、保護者のニーズが明確でない場合には事前に連絡を取り、把握に努めている。
2	訪問するにあたり、訪問員と保護者、訪問先とのコミュニケーションが取れている。	日頃から、訪問員であるセラピストと保護者は電話や対面などでコミュニケーションを取り、共通認識の下、訪問が行えている。	訪問時、保護者にも同席していただいている。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問員が2名のみであり、日程調整が難しい場合がある。	2名の訪問員は、訪問リハビリやデイサービス内の業務も行っており、業務内容が多岐に渡っている。 学校行事などの関係で日程が合わない場合がある。 訪問内容が座位保持やバギー、装具などの調整の時は、業者との日程調整も必要となる。	固定枠を設けて訪問を行っているケースもある。 可能な限りの調整を行っている。
2	訪問内容について、事業所全体にあまり周知が出来ていない。	訪問看護、訪問介護、デイサービス、相談支援など業務が多岐に渡っており、報告内容、討議内容も非常に多い。	事業所全体の会議の場などで、共有する機会を作っていく。
3			